

1 学期終業式校長講話要旨

○1 学期を振り返って

今日で1学期が終わります。中・高の新生1年生は、新しい学校生活によりやく慣れてきたところでしょう。高校3年生は、様々な意味でこの夏が自分の進路を決めていく時期になります。自分は何になりたいのか、何を目指していくのか、を明確にしてこの暑い夏を乗り切ってください。中学の2年・3年生は、これから自分のやりたいことを追求できる時期に来ています。様々なことにチャレンジしてください。高校2年はこれからこの学校の中心となって活躍してもらう時期になります。様々なことにチャレンジして自分の可能性を広げましょう。

○梅雨の大雨

関東地方の梅雨明けが待たれる時期になりました。今年の梅雨は大雨の日が多かった印象です。とくに本州に3回も台風が通過しました。また、沖縄・九州地方には、台風以外にも梅雨前線の影響で何度も大雨警報が出されたり、線状降水帯が発生したりして各地で洪水などの大きな被害がありました。昨日も群馬県南部、栃木県南部に記録的な大雨がありました。被害に遭われた地域の方へのお見舞いと、1日も早い復興を願っています。

時により過ぐれば民の嘆きなり八大竜王雨やめたまへ

源実朝「金槐和歌集」。

（農民にとっての恵みの雨も、時によって降りすぎると民の嘆きになります。八大竜王よどうか雨をやめてください）

江戸時代まで、日本の人の大半が農民でしたから、天候には敏感で、特に稲作に雨・水は欠かせません。八大竜王は雨乞いの神様ですが、雨が降りすぎれば災害になります。「竜王」・「竜」は、漢字の「流れる」の「りゅう」にも通じるところから、雨や川、水の神のことを「竜神」・竜の神と言います。奥日光には竜頭の滝（竜の頭と書きます）という中禅寺湖にそそぐ滝があります。また、滝という漢字はさんずいに竜と書きます。竜の字がつく地名は多くは川や滝などに関係しています。福井県には九頭竜川という名前の川があります。九つの頭がある竜の川ということで暴れ川、洪水が多く、支流が多く、崩れやすい地形を流れる川だったのでしょう。

この周辺では、お隣の龍ヶ崎市や、その東、利根川を渡った先の栄町には龍角寺という奈良時代の前の白鳳時代の寺院があります。また、千葉県流山市も川の流れに由来しています。

その竜王・竜に対して、鎌倉幕府三代将軍源実朝が、降りやまぬ雨に対して、雨がやむことを願っているのが、この「時により過ぐれば民の嘆きなり八大竜王雨やめたまへ」です。

治水、洪水を治めたとされる神様が日本神話の世界では、スサノオノミコトです。この素戔鳴命を祭っている神社は川の氾濫原や海の近くにありますが。素戔鳴命は出雲地方で八岐大蛇を退治したことでなっています。八岐大蛇とは、大河、大きな川の下流部分が、やまた、いくつもの支流に分かれて氾濫していることを指していると思われます。素戔鳴命を祀る神社には須賀神社という名前の神社もあります。須賀神社の立地は須賀（スカ）、河口付近や砂地など地盤の緩い場所に立っています。先ほどの九頭竜川も同様です。また、九頭竜については、箱根芦ノ湖畔に九頭竜神社があるほか、日本各地の河川、治水関連の信仰や神社として現れてきますので、興味がある人は調べてみてください。

○サッカーワールドカップ

日本時間6月12日に開幕した「FIFAサッカーワールドカップ2026」は、カナダ、アメリカ、メキシコの3か国共催で48か国が大会出場し、明後日20日にニューヨークで、スペインとアルゼンチンの決勝戦が行われる予定です。

これまでの歴代優勝国は、ブラジルが5回、イタリアとドイツが4回、アルゼンチンが3回、ウル

グアイとフランスが2回、イングランドとスペインが1回の8つの国と地域です。

日本は予選リーグを勝ち抜きましたがブラジルに惜敗して、ベスト32で終わりました。日本の代表選手の健闘を称えましょう。

サッカーワールドカップは、国際サッカー連盟（FIFA）が主催する、ナショナルチームによるサッカーの世界選手権大会です。世界最大のスポーツイベントであり、サッカーの大会における世界最高峰と位置付けられています。全世界のテレビ視聴者数は通算で310億人を超えており、スポーツイベントとしてはオリンピックを超えて、最も多いものです。また、経済規模においても世界最大です。4年に1回、西暦を4で割って2余る年（夏季オリンピックの中間年、1994年以降は冬季オリンピックと同年の夏になりました）に開催されています。

第1回大会は1930年、南米のウルグアイで開催されました。世界地図を思い浮かべてください。その後はイタリア、フランス、ブラジル、スイス、スウェーデン、チリ、イングランド、メキシコ、西ドイツ、アルゼンチン、スペイン、メキシコ、イタリア、アメリカ合衆国、フランスで開催されました。21世紀に入って、日本と韓国の共同開催、そしてドイツ、南アフリカ共和国、ブラジル、ロシア、カタールで、今回はカナダ、アメリカ、メキシコの3か国共同開催です。

2002年の日・韓ワールドカップまでの開催国は、大西洋を挟んでヨーロッパ諸国と南北アメリカ大陸の往復で開催されてきたことに注目しましょう。21世紀になって初めて東アジアで開催され、その後南アフリカ、中東のカタールなど非欧米圏での開催が行われるようになりました。

サッカーは、競技人口および国際的な認識が最も高いスポーツとされています。先ほどスポーツイベントとしては、オリンピックを超えて、最も多いと紹介しましたが、この理由を考えてみましょう。広いグラウンドとボールさえあればサッカーは可能です。競技をする環境があまり整っていなくても、また、経済的な状況が厳しい国や地域でもサッカーはできます。誰でもすぐに参加できるため、競技人口が多いものと考えられます。

FIFAには現在、全世界211の国と地域のサッカー協会が加盟しており、これは主権を持った独立国だけでなく、参加できる主体は国またはそれに準ずる地域であり、より厳密にはFIFAに加盟したサッカー協会を単位としています。

例えばイギリス（UK 連合王国）は一つの国と思いがちですが、連合王国と呼ばれるだけあって、本土の4協会（イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランド）と海外領土6協会（イギリス領ヴァージン諸島、ケイマン諸島、バミューダ諸島など）による計10代表チームが加盟しています。中国では、特別行政区の香港とマカオ、別に中華民国（台湾・チャイニーズ台北）が加盟しています。国際連合加盟国の193か国を上回り、これによって、211の加盟になっています。日本は日本サッカー協会が唯一の代表です。

もう一つ、ラグビーのワールドカップはどうでしょうか。サッカー、ラグビーも含めてフットボール発祥の地はイギリスです。このためサッカー同様、イングランド、アイルランド、スコットランド、ウェールズだけは別枠扱いになっています。しかし、オリンピックの場合は、イギリスは地域で分けずにUK連合王国として参加しています。そこから発展してナショナルチームとは何だろう、国・国家や地域の代表とは何か、国家やナショナリズムとは何かということを考えてみてください。

○明日から実質的に夏休みに入ります

グローバルコース2年生は、明日からオーストリア・アデレードへの2週間のホームステイ語学研修です。2日前の17日からニュージーランドへの希望者による研修がすでに始まっています。また、27日からはマレーシアへの研修、8月にはカナダのバンクーバーでの研修等、様々外国への研修があるほか、運動部では、インターハイなど夏の大会が連続します。皆さんそれぞれ充実した夏休みが送れるようにしてください。